

## 新年のご挨拶 大阪南医療センター 院長 小田 剛紀

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2025年は当院において、いくつかの新しい話題があります。

まず、1月から新しい放射線治療装置が稼働いたします。しばらくの間、装置の入れ替えで放射線治療が中断しておりましたが、レベルアップした装置で治療を提供させていただきます。次に、4月から呼吸器外科が新設されます。肺がんの外科治療をはじめ呼吸器系の手術に対応していく方針です。さらに本年前半に、ロボット手術機器の配備を予定しています。泌尿器科、消化器外科、婦人科、呼吸器外科領域で患者さんに優しい安全な外科治療に向けて、関連外科系診療科が取り組んでまいります。

コロナ後の医療を取り巻く環境は、経済的な点で非常に厳しい情勢となっています。当院も例外ではありませんが、引き続き南河内医療圏における地域の中核を担う医療機関として、患者ファーストの視点を第一に貢献をしていきたいと考えております。地域医療施設の皆様におかれましても、なお一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて今年巳年です。この巳の字は蛇の姿を表しており、蛇は脱皮を繰り返すことから「復活と再生」を連想させるとのことです。「一皮むける」という言葉がありますが、「洗練されて一段と良くなる」という意味として使われます。巳年にあやかり、当院、地域全体、関係する皆様が、一皮むけて、今年を向上の年としたいものです。

本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。



# MINAMI MADO

2025.1. No.53



### 大阪南医療センター 循環器疾患センター



胸背部痛、呼吸困難、動悸等  
循環器疾患が疑われる際には  
緊急対応連絡先へご連絡ください。

24時間緊急対応 (ハートコール)

直通 TEL : 0721-53-3200



Instagramはこちら ▶



LINEはこちら ▶



# 放射線治療科

## 様々な場面に有効な 放射線治療

放射線治療はがんの三大治療のひとつです。がんの完治を目指す治療だけでなく、完治が困難な場合でも延命や症状緩和の治療として利用できる低侵襲な治療です。放射線治療は局所治療であり、切らずに治療を行うので臓器の形態や機能の温存も可能です。当院では主に院内の各診療科(腫瘍内科、乳腺外科、泌尿器科、血液内科、外科、婦人科、消化器科、脳神経外科、緩和ケア内科等)と連携して悪性腫瘍の治療を担当しています。放射線治療装置がない地域医療機関とも連携し、地域内で放射線治療が提供できるようにしています。

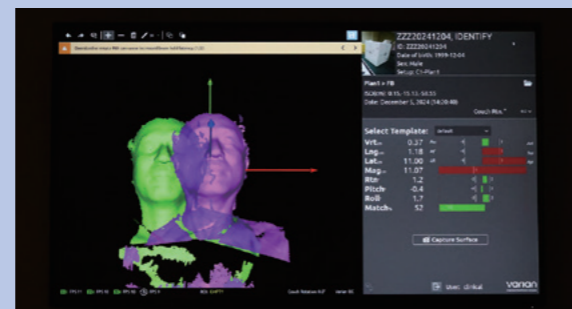


## より高精度な治療を提供

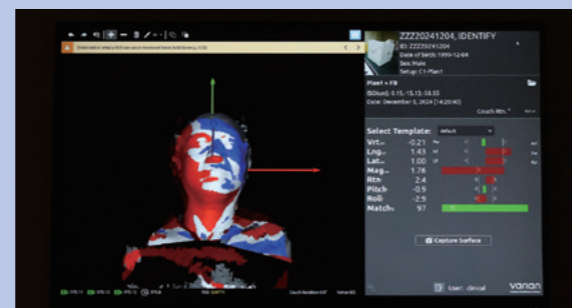
当院では従来から汎用型リニアックを用いた高エネルギー放射線治療を行ってきました。今回のリニアックの更新で、治療部位の照合がより正確できるようになり、より高精度な治療が提供できるようになりました。高精度な装置は、精度の担保が不可欠です。このため当院では、治療装置の適切な使用と放射線治療の品質を保つために放射線治療専門医、放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士が常勤で勤務し日々の診療に携わっています。さらに医学物理士(非常勤)とも協力して高精度治療の計画・検証をおこないます。

令和7年、新しいリニアックを用いて一般的な高エネルギー放射線治療から再開します。装置の稼働状況をみながら、定位放射線治療などの高精度治療も順次再開予定です。

### 体表面画像誘導放射線治療 IDENTIFY 体表面モニタリングシステム



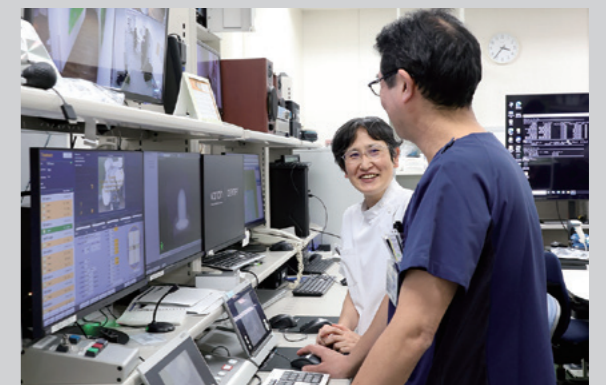
体表面情報(照合前)  
紫:計画上の基準画像 緑:リアルタイム画像



体表面のモニタリングと位置ズレの表示  
赤と青は基準画像とのズレを示す

## 新システムについて

- ・直線加速装置(リニアック)Varian社製 TrueBeam: 1台
- ・RGSC (Respiratory Gating for Scanners) 呼吸同期システム
- ・体表面画像誘導放射線治療 IDENTIFY 体表面モニタリングシステム
- ・SRS/SRT専用のツール HyperArc
- ・放射線治療計画装置 Varian社製 Eclipse Version 18.0: 3台



左写真:放射線治療科医長 池田裕子

